



生徒の皆さんへ

先日、バドミントンや弓道やサッカーをはじめ多くの部活動が地区大会に参加して納得できる結果を残した人もいないのでしょうか。早いもので来週から中間考査です。さあ、次は学習。気持ちをしっかりと切り替えて準備をしよう。

誰の仕事でもない仕事

日本のフランス文学者、思想家などで活躍している内田樹教授が、「仕事」には「私の仕事」と「あなたの仕事」のほかに、「誰の仕事でもない仕事」というものがあり、「誰の仕事でもない仕事は私の仕事である」という考え方をすること、「働くモチベーションがある人」と呼ぶと述べている。

たとえば、道ばたに空き缶が落ちている。誰が捨てたかは知らないけれど、これを拾って、自前のゴミ袋に入れて「缶・ビンのゴミの日」にゴミ・ステーションに出すのは「この空き缶を見つけた私の仕事である」というふうに自然に考えることのできる人間のことを「働くモチベーションがある人」と呼ぶのである。

私を知る限り「仕事のできる人」というのは、例外なく全員「そういう人」だからである。皆さんが、近い将来、体験するであろうビジネスの現場において、「私の仕事」と「あなたの仕事」のすき間に「誰の仕事でもない仕事」が必ず、発生する。これは「誰の仕事でもない」わけだから、もちろん、あなたがそれをニグレクト（無視）しても、誰からも責任を問われることはない。

しかし、現にそこに「誰かがやらないと片付かない仕事」が発生している。誰かが、その仕事を片付けなければ、いつまで経ってもそれは片付かない。

そのまま放置していれば、次第に増殖して、やがてシステム全体を脅かすような災厄の芽となるかもしれない。災厄は「芽のうちに摘んでおく」方が巨大化してから対処するよりもずっと手間がかからない。共同体における相互支援というのは要するに「おせっかい」ということである。最初に「災厄の芽」を見つけてしまった人間がそれを片付ける。誰もが「誰の仕事でもない仕事」を「私の仕事」とすれば、けっこう居心地のよい職場になるだろう。

とにかく自己利益だけを追求する人や政治的に正しい人は「おせっかい」なことを好まない。そのせいか、社会全体がシステムクラッシュを起こし始めている。世の中から「おせっかい」が消え、無関心がまん延することは、知らず知らずに社会システムを蝕んでいる。マザー・テレサも「愛の反対は憎しみではない。無関心だ」と言っている。

つまり、「誰の仕事でもない仕事は私の仕事である」と心得る人が増え、「おせっかい」を自らおこなえる人々が社会を明るくするのである。さあ皆さんはどうする？



モヤモヤお悩み相談 Q&A

出典：脳科学者 池谷裕二著「モヤモヤそうだんクリニック」

Q1 勉強に集中するには、どうしたらいいですか？

本来、集中力とは動物にとって不自然なものです。もし、原っぱにいるウサギが食べることに集中していたら空腹のキツネに襲われてしまいます。なので、人間を含めて動物は、集中しすぎない能力を発達させ生き残ってきました。だから、なかなか集中できないのは人間として自然なことです。そのことを踏まえて、オススメの勉強法は、家の中に複数の勉強スペースを確保すること。床に座るパターンやリビングテーブルに座るなど遊牧民のようにいろいろな場所に移動すること。そのついでにストレッチ運動など、短い息抜きの時間をとれば効果的です。

Q2 簡単に暗記するには、どうすればいいですか？

人間の脳は見えている情報だけでなく、いろいろな情報をつなぎ合わせようと「ゆっくりとあいまいに覚える」性質を持っているので、簡単には難しいです。ただし、見るよりは声に出して、書き出して、そして、繰り返すことで暗記はできていくものです。また、丸暗記は忘れやすくオススメしません。面倒でも繰り返し、問題を解いたり、覚える方法を工夫したりするのが効果的です。

Q3 頭がよくなる薬はありますか？

有るか、無いかで答えるなら有ります。ただし、効果や副作用、コストなどを考えて研究中です。

でも、本当に薬を使って頭をよくしたいですか。

みんなにとって「頭がいい」とってどういうことですか？テストの前に薬を飲んで、薬が効いているテストでは良い点数がとれる。そして、ほめられる。でも、これって本当の意味で「頭がよくなる」ということでしょうか。

これからも頭がよくなる薬は研究されていくとは思いますが、科学進歩によって変化する未来を想像して、新たな可能性や問題解決法を見つけていく。これができる人こそ「最高に頭がいい人」だと私は思います。



保護者の皆様へ

昨日9月30日まで、鹿児島県に適用されていた「まん延防止等重点措置」も解除され、新型コロナウイルス感染症拡大にある一定のブレーキがかかった状況となりました。これまで、本校でも時差登校、手洗い消毒のための休み時間拡大、黙食推進など行ってきました。幸い現在まで、感染陽性者や濃厚接触者等も発生しておりません。引き続き、気を緩めず、島内や県内の感染状況に応じて適切な感染症対策を講じて参ります。今後も何卒、御理解と御協力をお願いいたします。